

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 年 月 日

事業所名 まなび家新庄

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			ボランティアの方も来所されるのでゆとりがある日が多い。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか		○		毎日の業務日誌と反省等をいつでも見れるようにしている。今日の一気づいたことは管理者に報告し、みんなで共有している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		相談業務に追われて評価表結果を反映できる機会を得られなかった。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			コロナ渦でも奈良県の発達障害支援研修会（基礎研修）をパソコンのリモートで受講した。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			保護者と面談し、相談支援事業所や学校と連携している。その上でスモールステップで計画を立てている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		相談事業所の立てたアセスメントを使用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			必ず達成できる支援目標にし、本人にもわかりやすい言葉で計画を立てている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			いろんなスタッフからアイデアを頂き、子どもたちに初めての体験ができるようにしている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎日の活動の中に子どもたちのやりたい事を決め、受動的にならないように。イベントは子どもたちが喜ぶ企画や役に立つ企画を考えている。また、地域の方を巻き込み協力して頂いている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成しているか	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援前や前日には役割分担を口頭またはメールや電話にて確認している。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			その都度、気付いたことを報告し合っている。	

関係機関や保護者との連携	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		毎日の日誌に児童の様子と児発管の見解も添えている。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		保護者との連携をとっている。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		関わっている関係機関すべてと連携をはかり、保護者にも伝え、いつでも気軽に相談できる事業所を目指している。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	重症心身障害児の体制については行っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		送迎時には必ず情報共有を行っている。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	地域の子どもたちが遊びに来やすい環境であるので一緒の機会が多い。
	保護者への説明責任等	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	
30		日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
31		保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	今年度は親の会でカラーセラピストや絵本セラピストの講師を交えて親向けの研修会を行った。
32		運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者からの相談には真摯に向き合い重要と考えている。
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		今後、父母会の開催を考え、子供達のためによりよい支援をしていく。
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
38		個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
39		障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
非常時等の	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	コロナ渦で学校・学級閉鎖があり急な欠席等により実施する機会を失ってしまった。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	

対応	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		